

最上町

「森が人をつなぐまち」  
ここは田園空間博物館



最上町は四方を山に囲まれたカルデラ地形を有しており、温泉も豊富です。日本一の巨木や大分水嶺など全国的にも珍しい自然素材があり、松尾芭蕉のおくのほそ道や義経弁慶伝説などの歴史的史跡も学ぶことができます。町の中心地には 200ha の広さを誇る前森高原があり、乗馬や陶芸、オートキャンプなど様々な体験ができます。



体験内容

- 1 教育旅行の野外体験場「親倉見」において、田植えや稲刈りの稲作体験をはじめ、高枝のこぎりを使った伐採等の林業体験、キノコの植菌などが体験できます。
- 2 廃校を利用して開校式や郷土芸能のレクチャー、地元住民との交流を行います。また、リースづくり、わら細工、木工クラフトなどのワークショップも体験できます。
- 3 前森高原では乗馬体験、陶芸教室、ソーセージ作り、アイスクリーム作り、野外キャンプ、野外炊飯が体験できます。
- 4 農家民泊では、雪深い気候風土に生きる昔ながらの生活を垣間見ることができます。高齢になっても元気に働くお年寄りとの3世代同居の家庭も多く、高齢者と話をする貴重な時間を過ごせます。

期待される学習効果

- 農山村の農業生産、生活文化を学ぶ（一次産業の現場を知る職場体験として将来における就労意欲を高める。実生活では触れる機会が少ないものに多く触れさせ、興味関心を高める。）
- 農山村の郷土芸能文化を学ぶ（地域文化を継承する団体の指導員と交流機会を持つことにより、より深く農山村の生活を理解することができる。）
- 自然の生態系を学びともに体験する（生きる力を育み、友情を深める人間関係づくりを目的として、協調性、達成感、学びの意欲を養う。）

おすすめ体験紹介

**Step 1**  
林業体験  
豊かな森を守り、生活に役立てる林業の体験です。

**Step 2**  
農家民泊  
初対面のご家庭への宿泊体験は子ども達を自立させます。

**Step 3**  
郷土芸能レクチャー  
町独特の文化と芸能に触れます。

**Step 4**  
乗馬体験  
馬の扱い方や動物特性までレクチャーします。

**Step 5**  
ソーセージ作り体験  
日常的な加工食品の製造過程と仕組みを体験します。

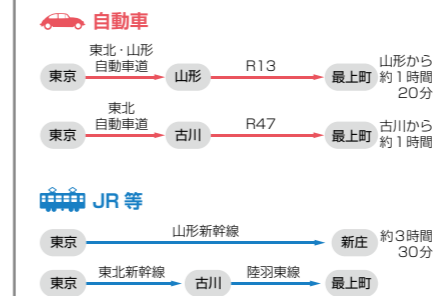
メッセージ

最上町の林業体験  
NPO山と川の学校理事長 奥山征一郎



最上町は奥羽山脈の懐に位置している関係から、太平洋と日本海へ流れ出る分水嶺が堺田駅前にあります。私たちが活動しているNPO山と川の学校では神室連峰の槍ヶ先への登山口に地元の方から借り受けて手入れしている「こども体験の森」で子どもから大人まで多くの方が楽しめる森を管理しています。そこで、多くの人々と森を育て、山から様々な恵みを頂きながら「山育体験学習」を開催しております。

アクセス



体験施設



もがみ農遊館 0233-43-3522 ふれあい陶芸館 0233-43-2928 フロンティアファーム乗馬場 0233-43-3522 旧瀬見小学校 0233-43-2233 (最上町観光協会)

おすすめモデルコース

- 受入期間 4月下旬から10月下旬
- 対象学年 小学校高学年から中学生

スケジュール例

- 1日目**
- 旧瀬見小学校にて入村式
  - 野外炊飯
  - 野外活動（農業体験 林業体験）
  - 農家民泊
- 2日目**
- 郷土芸能レクチャー
  - または野外体験
  - 旧瀬見小学校にて発表会
  - 温泉旅館宿泊
- 3日目**
- 体験ワークショップ
  - 乗馬体験
  - アイスクリーム作り
  - ソーセージ作り
  - リースづくり
  - 陶芸教室
  - わら細工作り
  - 木工クラフト
  - 旧瀬見小学校にて退村式
- いずれかを  
選択

人と暮らしに  
触れ合う 感動体験

林業体験 木質バイオマス視察

最上町は自然再生エネルギー「木質バイオマス」を有効活用している町として全国的にも有名です。森林が私たちの生活に役立つエネルギーとなる現場を体験してみましょう。

- 最上町観光協会
- 所在地 最上郡最上町大字向町581
  - TEL 0233-43-2233
  - FAX 0233-43-2319
  - E-mail Mail info@mogami.kanko.info
  - 受入期間 林業体験4月下旬から11月下旬 木質バイオマス視察は通年
  - 対象学年 小学生高学年～一般
  - 受入人数 100名
  - 体験時間 2～3時間
  - 料金 3,000円/1人
  - URL <http://www.mogami.kanko.info>



乗馬体験

かつて東北有数の馬産地であった歴史が残る最上町は、前森高原で本格的な乗馬が体験できます。初心者の引き馬から乗馬レッスン、乗馬トレーニングまで幅広いメニューがあります。

- 前森高原もがみ農遊館 フロンティアファーム乗馬場
- 所在地 最上郡最上町大字向町2135
  - TEL 0233-43-3522
  - FAX 0233-43-3292
  - 受入期間 通年
  - 対象学年 小学生低学年～一般
  - 受入人数 40名
  - 体験時間 1時間
  - 料金 個人レッスン 3,000円(20分)5,000円(40分) 団体体験 5人/10,000円
  - URL <http://maemori.jp>



郷土芸能レクチャー「義経弁慶太鼓」

義経弁慶伝説が残る瀬見温泉の郷土芸能が体験できます。豪快な太鼓のレクチャーはクラス単位で取組むことにより、団結力を高めめます。

- 最上町観光協会
- 所在地 最上郡最上町大字向町581
  - TEL 0233-43-2233
  - FAX 0233-43-2319
  - 受入期間 通年
  - 対象学年 小学生高学年～一般
  - 受入人数 80名
  - 体験時間 1時間
  - 料金 2,000円/1人
  - URL <http://mogami.kanko.info>



陶芸教室

最上町の土を使用した「手びねり」で皿やマグカップなどの創作ができます。完成まで約1か月。体験旅行の思い出が楽しめます。

- 前森高原ふれあい陶芸館
- 所在地 最上郡最上町大字向町2135
  - TEL 0233-43-2928
  - FAX 0233-43-3292
  - 受入期間 通年
  - 対象学年 小学生低学年～一般
  - 受入人数 80名
  - 体験時間 1時間
  - 料金 手びねり1,800円(送料別)
  - URL <http://maemori.jp>



戸沢村

# 農村の自然や文化、豊かに生きるための知恵を次世代へ



戸沢村には、手入れされた豊かな里山の恵みと先人が拓いた見事な田畑によって、人々の暮らしが、多くの生き物達と共生して営まれています。そのため村では、人々の自然や生活文化に関する多くの知恵や技術が受け継がれています。村の南部に位置する角川の里では、本当に豊かに生きるための知恵と技術を次世代の子どもたちに広く教えつつ、新たな里づくりを行おうと、地域運営学校「田舎体験塾つのかわの里」を設立し活動を展開しています。



## 体験内容

- 1 水田に入り、苗を手植えで植えていきます。
- 2 鍬を使い畑に畝を作り、野菜の種や苗を植えていきます。
- 3 インストラクターと野山を歩きながら植物観察や山菜取りができます。
- 4 不良木を倒して森を綺麗に、薪割りをして木を有効に利用できるようにします。
- 5 松尾芭蕉も句に詠んだ最上川を舟に乗って下ります。

## 期待される学習効果

- 知恵や技術の継承 (楽しみながら知恵や技術を学ぶ)
- ふれあい・交流 (一緒に体験・生活することで田舎暮らしを学ぶ)
- 「ありがとう」を育む (生産者の側に立ち、自然の恵みをいただいていることを学ぶ)

## おすすめ体験紹介

**Step 1**  
入村式 お世話になるインストラクターの方との対面や体験に関する諸注意などを行います。

**Step 2**  
体験活動 各班に分かれて作業を行います。内容は地域や季節や天候などによって異なるので、安全に注意して作業します。

**Step 3**  
民泊 里親との楽しい交流の時間です。美味しい夕食をみんなで食べながら交流を深めましょう。

**Step 4**  
退村式 楽しかった農村生活体験も終わり。また、角川に遊びにきてけるな～

## メッセージ

みなさん、こんにちは!!私は角川のマスコットキャラ“さゆりん”ゆり～  
角川の里では、様々な田舎体験農家体験を提供しているゆり～  
どの体験も、田舎の生活の大変さや楽しさを学べて、今後の学校生活に役立つこと間違いなしゆり～  
また美味しいものを作って待っている里親さんは、まるで実家のお母さん・お父さん、離れて暮らすおじいちゃん、おばあちゃんのように温かく迎えてくれるゆり～  
そんな、人と人とのつながりがとつとも強くて、皆優しくあったかい田舎「つのかわ」に、是非きてゆり～!



## アクセス



## 体験施設



戸沢農村環境改善センター 活動の本部としての役割を担い、入村式・退村式などを行います。  
最上川舟下り かつて文化・物流のルートであった最上川を松尾芭蕉になった気分が舟で下ってみよう。  
三左衛門そば道場 戸沢村産最上早生を使用した本格そばをうって、その場でゆでて食べられます。  
農家民宿 昔ながらの農家に泊まって田舎暮らし生活体験ができます。郷土料理もおいしいよ。

## おすすめモデルコース

- 受入期間 4月～3月
- 対象学年 小学校1年生～大学生まで

### スケジュール例

#### 1日目

- 戸沢村農村環境改善センター 持参した弁当で昼食
- 戸沢村農村環境改善センター 入村式 ※地元インストラクター参加
- バスにて移動(一番遠いところで10分程度) 各地区公民館 農村生活体験開始 田植え体験・畑作体験・間伐、枝打ち体験・ピオトープ作りなど ※地元インストラクターが指導
- 公民館へ農家の方が迎えに来ます 各地区農家 民泊体験 ※各農家の家族が指導

#### 2日目

- 各地区農家 農家の方が公民館まで送って来ます 各地区公民館 農村生活体験開始 田植え体験・畑作体験・間伐、枝打ち体験・ピオトープ作りなど ※地元インストラクターが指導
- バスにて移動 戸沢村農村環境改善センター 昼食(地元の山菜・野菜をつかった郷土料理です)
- 戸沢村農村環境改善センター 退村式

## 人と暮らしに 感動体験

### 田植え体験

実際に田んぼに入り、昔ながらの手植えによる田植えを体験します。田んぼの中は一步を歩くだけでも大変です。体験を通して食物を育てる事の大変さや楽しさを学ぶことで食に対する関心や感謝の気持ちを養います。

- 田舎体験塾つのかわの里
- 所在地 最上郡戸沢村角川481-1
  - TEL・FAX 0233-73-8051
  - E-mail tunokawa\_sato@yahoo.co.jp
  - 受入期間 5月中旬～下旬 8:30～17:00
  - 対象学年 小学校中学年から
  - 受入可能人数 40人程度
  - 体験時間 3時間程度
  - 料金 半日2,000円
  - URL <http://inaka-taiken.jp/>



### 野菜種まき・植え付け

野菜はスーパーに並んでいますがスーパーで作られているわけではありません。この体験では農作物がどのように育ち、私たちの食べ物となるのかを知るとともに、農業と自然との関わり、人間とほかの生き物との関係なども分かってきます。

- 田舎体験塾つのかわの里
- 所在地 最上郡戸沢村角川481-1
  - TEL・FAX 0233-73-8051
  - E-mail tunokawa\_sato@yahoo.co.jp
  - 受入期間 5月～10月 8:30～17:00
  - 対象学年 小学校中学年から
  - 受入可能人数 40人程度
  - 体験時間 3時間程度
  - 料金 半日2,000円
  - URL <http://inaka-taiken.jp/>



### 間伐・枝打ち体験

大きくまっすぐな木を育てる為に必要な、間伐・枝打ちを地元インストラクターの指導の元で体験します。山の手入れは大きな木を育てる為だけではなく、その里山に住む動物達が住みやすい環境をつくることにもつながります。

- 田舎体験塾つのかわの里
- 所在地 最上郡戸沢村角川481-1
  - TEL・FAX 0233-73-8051
  - E-mail tunokawa\_sato@yahoo.co.jp
  - 受入期間 4月中旬～10月 8:30～17:00
  - 対象学年 小学校高学年から
  - 受入可能人数 40人程度
  - 体験時間 3時間程度
  - 料金 半日2,000円
  - URL <http://inaka-taiken.jp/>



### ピオトープ作り

ピオトープとは生き物たちの住み家を示す言葉です。角川地区は全体がピオトープの役割を担っていますが、この体験では使われなくなった休耕田を利用して、生き物達の住みやすい環境を自由にデザインしていきます。

- 田舎体験塾つのかわの里
- 所在地 最上郡戸沢村角川481-1
  - TEL・FAX 0233-73-8051
  - E-mail tunokawa\_sato@yahoo.co.jp
  - 受入期間 5月中旬～9月 8:30～17:00
  - 対象学年 小学校中学年から
  - 受入可能人数 40人程度
  - 体験時間 3時間程度
  - 料金 半日2,000円
  - URL <http://inaka-taiken.jp/>



# スタンプを押しながら歴史的建物をめぐる「城下町やまがた時代絵巻」ウォーク

山形市

城下町山形は延文元年、最上家始祖・斯波兼頼公が羽州探題として入部し礎となる城を築き、11代城主・戦国大名最上義光公の時代に大城郭が完成し栄えました。平城としては、全国でも有数の広さとされ、二ノ丸・三ノ丸は現在もその遺構を残しています。城下には市日町、職人町などが造られ、近江商人をはじめ外来商人の自由交易、紅花交易などによって商人町としても栄え、蔵座敷・店蔵といった蔵文化は現在も街なかに見られます。また大きな戦災を免れたことにより、江戸・明治・大正・昭和といった時代と文化の変遷に触れることができる街並みとなっています。

## 見どころ1 七日町御殿堰 (山形五堰)

「御殿堰」は山形市内を流れる農業用水路「山形五堰」の一つ。七日町御殿堰は平成22年にせせらぎが見える水路として再生され、隣接している古い蔵を生かした建物は、飲食店などとして活用されています。



## 見どころ2 山形城跡二ノ丸東大手門 (霞城公園)

史実に従い日本古来の建築様式により木造建で忠実に復原された山形城二ノ丸の正門。櫓門・多門櫓・高麗門・土塀を備える。国指定史跡。



## 見どころ3 山形市郷土館 (旧済生館本館)

明治11年に建てられた三層楼16角形の擬洋風建築。県令三島通庸により病院(市立病院済生館の前身)として建築された。その後移築され、現在は郷土資料・医療関係資料を展示する郷土館となっている。国重要文化財。



## 見どころ4 山形まるごと館紅の蔵 (旧長谷川呉服店蔵)

かつて紅花商人であった長谷川家の蔵屋敷。山形の魅力ある食の提供、地域特産品や地元農産物の販売、企画展示など行う観光施設として活用されている。



### 街歩きのヒント

- 江戸・明治・大正・昭和・平成各時代の建造物を見て回り、その時代の建築様式や生活・文化の違いを考えてみよう。
- 見どころにあるスタンプを押しながら、オリエンテーリング感覚で山形市内中心部のウォークラリーを楽しもう。
- 見どころの所在町名は城下町ならでは。町名の由来、町名とお城との関係など考えながら、江戸時代にタイムスリップしてみよう。

\*山形市のアクセスはp.44に掲載しています。

## 人と暮らしに 感動体験

### 文翔館

大正5年竣工の県庁舎と県会議事堂の2棟からなるレンガ造りの英国近代復興様式建築。現在は県郷土館として一般公開されている。国重要文化財。

- 所在地 山形市旅籠町3丁目4番51号
- TEL 023-635-5500 FAX 023-635-5501
- E-mail bunsyokan@gakushubunka.jp
- 受付期間 9:00~16:30
- 対象学年 制限なし 受入人数 制限なし
- 体験時間 制限なし 料金 入場無料
- URL <http://www.gakushubunka.jp/bunsyokan/>



### 平清水焼き(七右工門窯)

平清水は、昔ながらの街並みを残す焼き物の里です。七右工門窯では地元千歳山から取れる酸化鉄分を含んだ陶石を原料に魅力あふれる民芸陶器を作り出しています。陶芸教室では給付もできます。

- 所在地 山形市平清水153
- TEL 023-642-7777 FAX 023-633-4176
- E-mail ttadashi@smile.ocn.ne.jp
- 受付期間 9:00~15:00
- 対象学年 小学生以上 受入人数 400人
- 体験時間 1時間30分~2時間
- 料金 粘土 1kg2,000円 500g1,000円 ※送料別途
- URL <http://www4.ocn.ne.jp/sitiemon/>



# 住んでみたい街の謎を探る。～街並み景観づくり100年運動の町を歩く～

金山町

金山町は、羽州街道沿いに開けた宿場町として栄え、明治11年に訪れた英国の女性旅行作家イザベラ・バードが「ロマンチックな雰囲気」と称賛しました。白壁造りの土蔵や住まいが樹齢200年を超える金山杉の美林に囲まれ、その山々に映える落ち着いた街並みは、平成22年度「街並み景観大賞」を受賞。「風景と調和した街並み景観づくり100年運動」を展開し、「住み続けたい町・誇りを持てる町」を目指しています。町の中心部を潤す大堰の流れ、切妻屋根と白壁がすがすがしい金山住宅、美しい自然と街並みの散策が魅力です。

## 見どころ1 大堰・大堰公園

町の中心部を巡る、石積み農業用水路「大堰」は、美しい町のシンボルです。町の園児たちが、約200匹の鯉を放流する風景は、春の風物詩となっています。隣接する休憩所は誰でもご利用できます。



## 見どころ2 小マルコの蔵

商家として栄えた旧家から譲り受けた蔵を改修した。街角交流施設「マルコの蔵」は、金山杉の香りが漂い、まち歩き休憩スペースや喫茶、展示ギャラリーとなっています。東蔵と西蔵の2つの蔵があります。



## 見どころ3 交流サロンぼすと

昭和11年に建てられた旧金山郵便局を改修復元した、懐かしいダルマポストが目印の建物です。1階は交流と憩いの場、2階は森のこども図書コーナーや地域活動の拠点となっています。



## 見どころ4 蔵史館

かつての米蔵を改修した文化活動の拠点で、町の景観に調和した外観は、国土交通省の「手づくり郷土(ふるさと)賞」に選定されています。町内散策の休憩処としてもご利用できます。



### 街歩きのヒント

- 街並みの特徴はどんなところだと思いますか？金山住宅とは？気づいたところをチェックしながら歩いてみよう。(白壁、切妻屋根、杉板張りの下見板、カラスどまり、など)
- 町内の中心部に張りめぐらされた水路はどんな役割を果たしているかな？(大堰、めがね堰、ポケットパーク、その他沿道の水路など)
- 小路のつくりはどうなっているかな？(石畳、マンホール、案内板など)
- 「住んでみたい」「住み続けたい」と思うポイントはどこだと思いますか。
- 美しい街並みづくりには何が必要だと思いますか。

\*金山町のアクセスはp.44に掲載しています。

## 人と暮らしに 感動体験

### 乗馬体験・生き物とのふれあい

動物との触れ合い通じ、豊かな心を育てるプログラムをカムロファーム倶楽部内で開催しています。雄大な敷地内にある、個性的な円形の木造建築「日輪舎」も必見です。

- カムロファーム倶楽部・にんじんクラブ
- 所在地 金山町大字有屋1247-2
- TEL 0233-52-2355 (認定子ども園めぐり内)
- FAX 0233-52-2034 (同上)
- E-mail info@megotama.or.jp (同上)
- 受付期間 通年 対象学年 小学生以上 要予約
- 受入人数 要相談 体験時間 10分~120分
- 料金 500円~
- アクセス 金山町役場から、町内有屋方面(グリーンバレー神室方面)へ車で約10分



### 木工クラフト・くん製・自然観察・雪あそび

豊かなスギ林とブナ林に囲まれた「遊学の森」は、四季の彩りが美しく、春の新緑、夏の昆虫採集、秋の山の幸、冬の雪遊びと一年を通して森で遊び楽しむことができます。

- 遊学の森「木もれび館」
- 所在地 金山町大字有屋1761
- TEL 0233-64-3305 FAX 0233-64-3306
- E-mail yugaku@cello.ocn.ne.jp
- 受付期間 通年 9:00~16:30 ※要予約
- 月曜定休(祝日の場合要日)
- 対象学年 小学生以上 受入人数 要相談
- 体験時間 60分~ 料金 各種体験200円~
- アクセス 金山町役場から、町内有屋方面(グリーンバレー神室方面)へ車で約10分

